

令和2年度第2回鳥取市総合企画委員会（7/22開催）
委員事前意見一覧

項目	意見・質問	回答
基本構想 第1章 計画策定の趣旨	趣旨が漠然としています。 本市の今日の現状をどのように捉え、どのような街づくりを目指すのか？ 当期までの歩みを総括し、次期総合計画で目指す街づくりはどのようなものとお考えでしょうか？	「計画策定の趣旨」では、総合計画を策定する目的や、現在の本市の状況を述べています。第10次総合計画の令和元年度までの評価については現在取りまとめ作業中ですが、各担当部局において、令和元年度までの実績等を踏まえ、基本計画に記載する施策の内容を検討しているところです。 本市のまちづくりにおいては、「鳥取市を飛躍させる、発展させる」を理念に、「いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市」をめざしてまいりたいと考えます。
基本構想 第2章 計画の役割、構成と期間など	計画の役割（1）、（2）、（3）は“具体的”役割ですか？ 役割というより、「総合計画の位置づけ」としたほうが良いと考えます。	この記述は、総合計画が担っているはたらきについて説明したものであるため、「役割」としています。
基本構想 第3章 人口と財政の長期的な見通し	①人口見通しについて、見通しのみで課題についての言及がありません。	人口の見通しから考えられる課題はすべての分野にわたるものであり、課題の認識については、基本計画において施策ごとに記載することとしています。 基本計画においては、「現状と課題」を認識し、「施策の基本的方向」を定め、「施策の主な取組」を明らかにします。
	②人口見通しから考えられる課題は何でしょうか？	
	③財政見通しは、今回の委員会で示されるのでしょうか？	
基本構想 第4章 時代の潮流と街づくりの課題	①1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. で述べられていることは、「まちづくりの課題」とあるが、不都合な事実の言及にとどまっており、課題となっていない。また、不都合な事実を裏返的に対応することが必要としているため、後段に述べられている政策の根拠になっていません。	「時代の潮流とまちづくりの課題」においては、認識すべき時代の潮流のうち、本市に関わりのある特徴的なものを記載し、そこから導かれる大きな課題について明らかにしました。それらを踏まえ、これまで推進してきた政策について見直しを加え設定したものです。 今後策定する基本計画においては、施策ごとに具体的な課題を明らかにすることとしています。 ご意見をいただきました政策の見直しにあたっては、総合企画委員会での議論を踏まえ内容の修正を検討したいと考えます。
	②本市の現状分析とそれに基づく課題の設定が、基本構想の肝であることは言うまでもなく、五章以降の展開にもつながるので見直すべきと考えます。	
基本構想 第5章 まちづくりの方向	第一節から第四節について異存はありません。また、第五節の「まちづくりの目標」は、第一節の「基本的な考え方」を少し詳しく記述したものと理解しました。政策については前記の通り見直すべきと考えます。	「まちづくりの目標」は、まちづくりの「基本的な考え方」を踏まえ、「めざす将来像」を実現するために設定した目標です。 政策の見直しについては、総合企画委員会での議論を踏まえ内容の修正を検討したいと考えます。